

取扱説明書

SWE-1080

パワードサブウーファー

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。
飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください

ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。事故・ケガの原因になります。

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。

音が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。

運転中は操作をしないでください。事故・ケガの原因になります。操作する場合には、安全な場所に停車してください。

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。

充実したサポートとサービスのために是非お客様登録をお願いします。
アルパイン製品をご購入いただいたお客様を対象にしたサポート・サービスをはじめ、アルパインサイトの様々なオンラインサービスをご利用いただけます。

パソコンからのご登録
https://www.alpine.co.jpへアクセスいただき、ご登録をお願いします。

スマートフォンからのご登録
https://www.alpine.co.jp/mobileへアクセスいただき、ご登録をお願いします。
※一部対応していない機種がございます。



アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in China
68M16221J10-A

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。

車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障または聴力障害の原因になります。

車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。

規格

- 最大出力160W
- クロスオーバー50～100Hz 可変（－12dB/oct.）
- 使用電源DC14.4V（動作範囲：11～16V）
- アース方式⊖アース
- 外形寸法
・サブウーファー340（幅）×78（高さ）×230（奥行）mm
- 重量
・サブウーファー4.71kg

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

こんなときには

本機の調子が悪いときは、修理を依頼する前にもう一度、次のことをチェックしてみてください。それでも調子が悪いときは、お買い上げ店、またはお近くの「お問い合わせ窓口」にご相談ください。

症 状	原 因	処 置
動作しない。 ・ヒューズが切れるなどの症状。	ヘッドユニットの電源が入っていない。	ヘッドユニットの電源を入れる。
	アースコードの接続が不完全。	アースコードの接続を確認する。
	バッテリー電源コードの接続が不完全。	バッテリー電源コードの接続を確認する。
	ヒューズが切れている。	所定容量のヒューズと交換する。
	リモートオンコードの接続が不完全。	リモートオンコードの接続を確認する。
電源は入るが、音が出ない。	PIN コードの接続が不完全。	端子に正しく挿入する。
	スピーカー入力の配線が不完全。	スピーカー入力配線の接続を確認する。
	入力感度調整ボリューム位置がシステムに合っていない。	システムに合わせて正しい位置にする。
	車内の温度が極度に高くなっている。	車室が適温になってから、ヘッドユニット側の電源を OFF → ON して使用する。 （ヘッドユニット側にリモートオンコードが無く、本機と ACC 接続している場合は、イグニッションキー（エンジンキー）を OFF → ON してください。）

取り扱い上のご注意

取り付けには必ず添付のブラケットを使用してください。

本製品には、安全にお使い頂くための取付部品を添付しています。本機の取り付け時には、必ず添付のブラケットを使用し、しっかりと固定してください。取り付けについては、裏面の「取り付ける」を参照してください。

磁気カードなどは製品近くに置かないでください。

本機には強力な磁石が使われています。不用意に財布などを製品近くには置かないでください。キャッシュカードなどの磁気カードが使用不能になる場合があります。

製品の近くにジュース・水などを置かないでください。

製品の近くにジュース・水などを置かないでください。万が一、ジュース・水などが製品にかかると故障の原因になります。

夏などは車内の温度が極度に高くなる場合がありますので、**車内を適温にしてからご使用ください。**

本製品は、製品保護の為に高温状態でご使用になった場合、自動的に音を出なくするような仕様としています。また、万が一そのような状況になった場合でも、車室が適温になってから、ヘッドユニット側の電源を OFF → ON して使用してください。（ヘッドユニット側にリモートオンコードが無く、本機と ACC 接続している場合は、イグニッションキー（エンジンキー）を OFF → ON してください。）このような場合は、本製品の故障ではありませんのでご安心してご使用ください。

製品の開口部を掴んで持ち上げないでください。

製品の開口部を掴んで持ち上げないでください。故障の原因になります。

製品の中に物を入れないでください。

製品の中に物を入れないでください。故障の原因になります。

製品の上に乗ったり荷物を置かないでください。

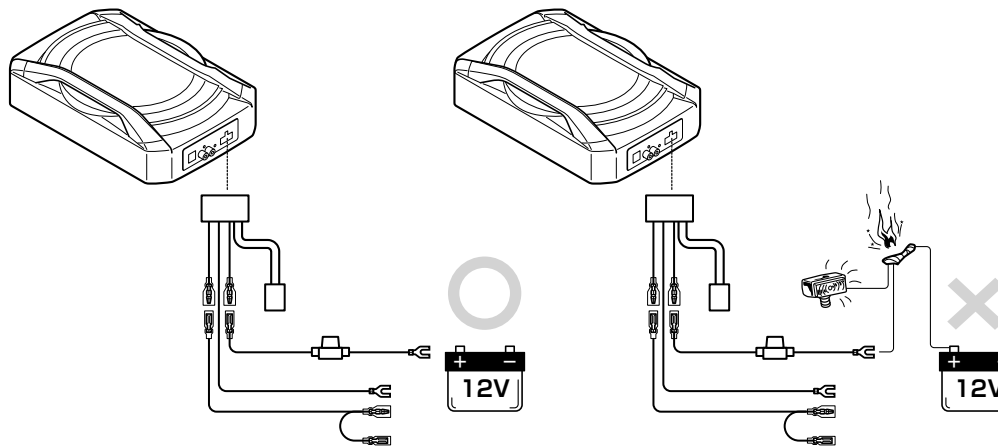
製品の上に乗ったり荷物を置いたりしないでください。ケガまたは破損の原因になります。

製品付属の電源用延長コード（5m）を必ず使用して、直接バッテリー＋端子の金具に接続してください。

必ず製品付属の電源用延長コード（5m）をご使用ください。

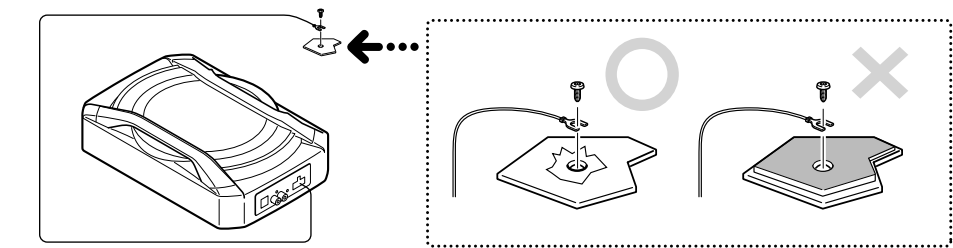
電源用延長コード（5m）は、必ずバッテリーの＋端子に直接接続してください。

車両の既設電源コードから分岐して接続すると、電圧低下で正常に動作しなかったり、車両の既設電源コードが発熱したりして、発煙・発火の危険があります。



本製品のアース線は、車両ボディの金属部分に確実に接続してください。

本製品の電源アース線は、車両の金属部分に確実にネジ止めしてください。接続が不十分ですと、正常に動作しないことがあります。また、ネジ止める車両金属部分は、導通性を高める為、ヤスリなどで塗装を十分に剥がしてください。（車両のネジの一部には車両金属との間に樹脂部品が装着され確実にアースが取れない場合があります。）



過大入力に注意

音が歪（ひず）んだり、異音（ボコボコ、ペコペコという音）が出るような状態ではスピーカーへの入力が大きすぎます。（過大入力）スピーカーに過大入力続けると、性能が落ちたり、壊れたりしてしまいます。過大入力にならない範囲でご使用ください。過大入力によるスピーカーの破壊は保証期間内でも無償修理の対象外です。歪（ひず）まないようにゲインなどを調整すると十分な音圧（音量）が得られなくなることがあります。この場合は、サブウーファーリスナーに近づけて設置してください。理論上、距離が半分になると音圧は4倍になります。

どうして壊れるの？

一般にアンプはフルパワーで使うより、音量を下げ、アンプに余裕を持たせてならした方が、締まってエッジの効いた良い音が得られます。このパワードサブウーファーも、良い音を出すために余裕のあるアンプが内蔵されています。ですから、音が割れるほどの過大入力状態でならし続けた場合、スピーカーは壊れてしまうのです。過大な入力になっているかどうかは音を聞いて判断します。歪（ひず）まない範囲の音量でお楽しみください。

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

付属品

品 名	数量	品 名	数量
・電源コード	1	・ブラケット	4
・電源用延長コード（5m）	1	・ブラケット取付ネジ	4
・4Pスピーカー延長コード（4.8m）	1	・固定用タッピングネジ	4
・PIN分岐コード（0.2m）	1		
・リモコン	1		
・リモートオンコード（4m）	1		

保証／アフターサービスについて

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき.....まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき.....保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、またはお近くのサービス・ショップに修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理.....保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理.....修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 補修用性能部品.....製造打切り後でも、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店または右記の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

(SP)	(平成 31 年 2 月現在)
お問い合わせ窓口	

- 製品に関するご相談/お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ	
<電話でのお問い合わせ> TEL：0570－006636 ※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。 （携帯電話・PHS：20 秒 10 円） 一部の IP 電話など、接続できない場合は次の番号をご利用ください。 TEL：03-6704-4926	<FAX でのお問い合わせ> FAX：045-522-8700
<メールでのお問い合わせ> ホームページのお問い合わせフォームより受け付けています。	

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/栃木県/茨城県/群馬県/埼玉県/千葉県/東京都/神奈川県/埼玉県/新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市東町3-18-14	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/富山県/石川県/福井県/滋賀県/京都府/大阪府/和歌山県/奈良県/兵庫県/岡山県/広島県/鳥取県/広島県/山口県/香川県/愛媛県/徳島県/高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/長崎県/鹿児島県/宮崎県/沖縄県

1. 取り付ける

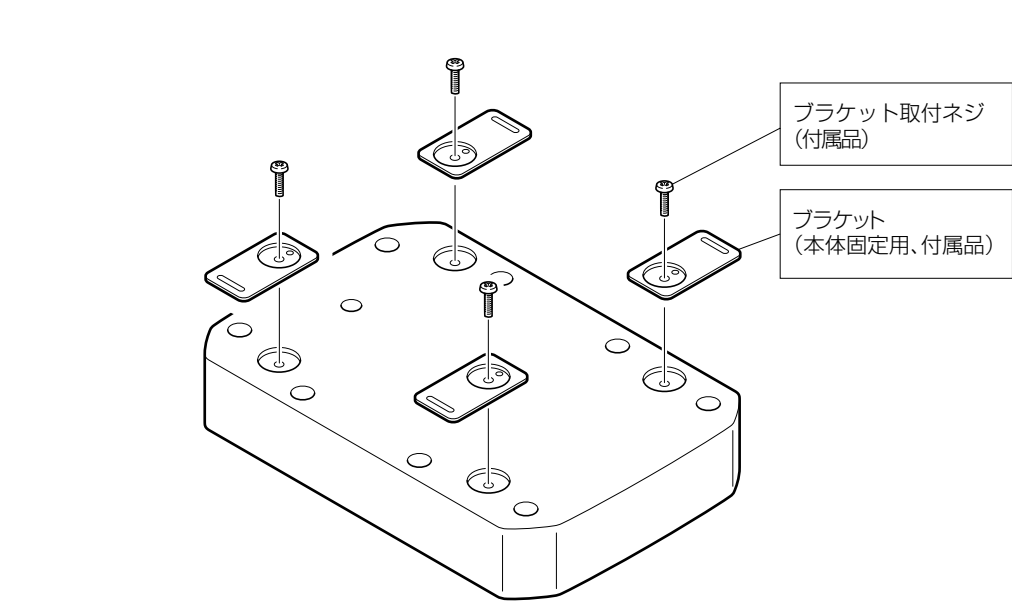
- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分であることを確認してください。

1 車を安全で平坦な場所に停める。

パーキングブレーキをかけ、エンジンキーを抜く。
おおよそのレイアウトを決め、コードの長さが十分か確認する。

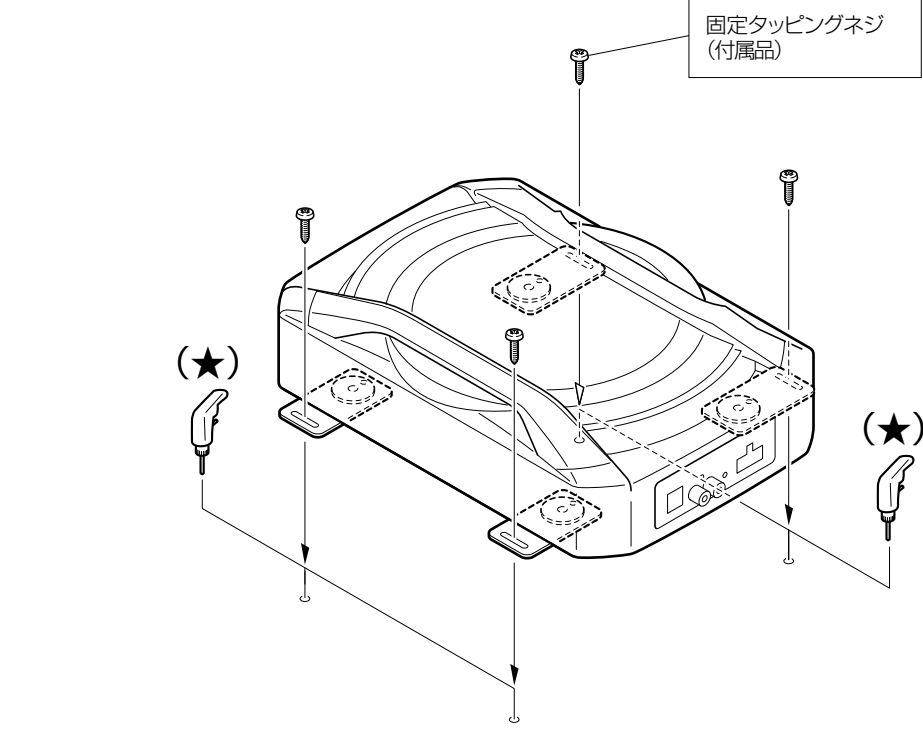
2 取り付ける。

- 取り付け方法
 - ① 車への取り付け場所を決めます。
 - ② 付属のブラケット取付ネジを使用し製品に付属のブラケットを固定します。



- ③ 車への固定タッピングネジ位置に印をつけます。
- ④ ドリルで固定タッピングネジの下穴（★）を開けます。
付属のタッピングネジを使用し本機を車に固定します。

《サブウーファースの取り付け方》



- 車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。
- 製品本体を固定する場合、必ず付属ブラケット、付属ネジを使用してください。
- アクセル・ブレーキペダルの運転操作を妨げる場所には取り付けない。

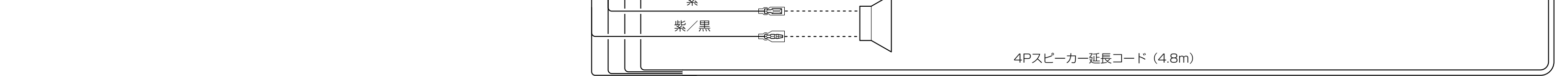
2. 接続する

- 接続は、車の電装系が理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続前に接続先をチェックしてください。

1 バッテリー○端子を外す。

2 接続する。

●PIN入力接続の場合



- ヘッドユニット側などにリモートオンコードがない場合は、車のACC電源コード（ACCポジションで電源が供給されるコード）に接続してください。
- 車両ボディの金属部分に取り付けてください。また、取り付け部分の塗装をヤスリなどで剥がしてから取り付けてください。
- 必ず、付属の電源用延長コード（5m）を使用し、直接、車両側バッテリー○端子に接続してください
- 電源用延長コード（5m）は、切断など加工をしないでください。故障の原因になります。
- ヘッドユニットやエンジンキーなどのバッテリーコードには、接続しないでください。

- 説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。
- 製品付属の専用リモコン以外は絶対に接続しないでください。故障の原因になります。

3. 確認する

1 コード類を固定する。

- コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

2 バッテリー○端子を接続する。

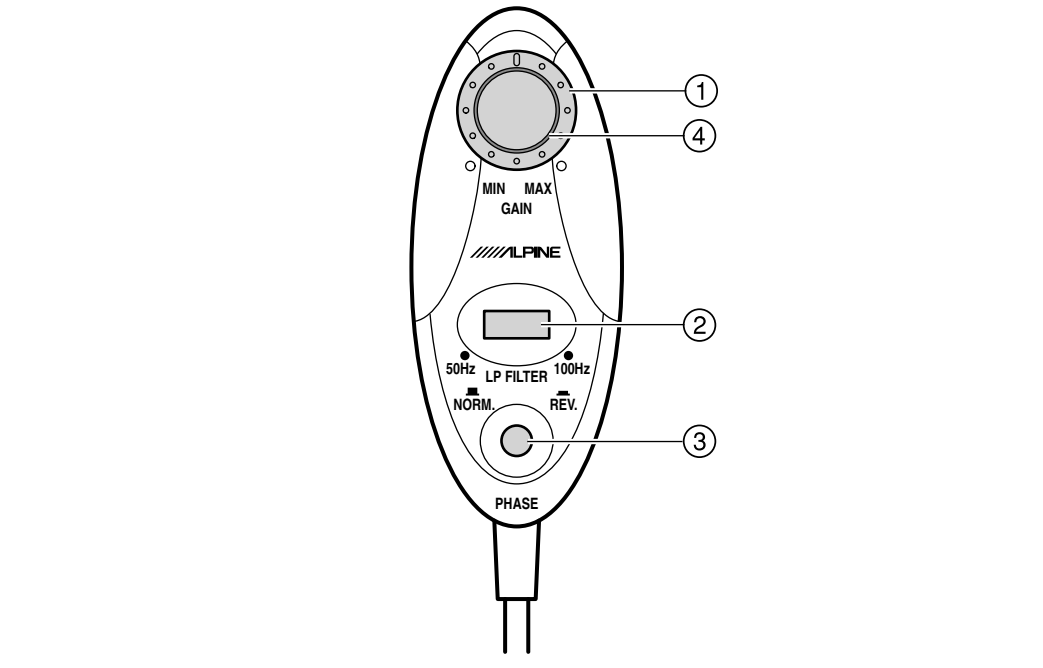
3 エンジンキー／カーオーディオ電源を ON にして、本機の動作が正しいこと（音が正しく出ているかなど）を確認する。

4 ホーン／ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

4. 調整する

●過大入力に注意

音が歪（ひず）んだり、異音（ポコポコ、ベコベコという音）が出るような状態ではスピーカーへの入力が大きすぎます。（過大入力）
スピーカーに過大入力続けると、性能が落ちたり、壊れたりしてしまいます。過大入力にならない範囲でご使用ください。



- ① 入力感度調整ボリューム（GAIN）： 音の大きさを調整するノブです。
MIN にすることで小さくなります。
- ② ローパスフィルター周波数切替（LP FILTER）： 音の再生帯域を調整するノブです。
他のスピーカーとのバランスを調整することができます。
- ③ 位相切替スイッチ（PHASE）： 音の遅れを調整するノブです。
他のスピーカーと音のタイミングを合わせることができます。正相（0 度、NORM.）と逆相（180 度、REV.）を切りかえられます。
- ④ パワーインジケーター： 電源 ON で点灯します。

●アルパインが推奨する調整方法

- ①入力感度調整ボリューム（GAIN）を MIN、③位相切替スイッチ（PHASE）を NORM、②ローパスフィルター周波数切替（LP FILTER）をセンターに設定してからシステムの電源をオンにする。
- ヘッドユニットなどの TREBLE、BASS をセンターの状態にして、音量を普段聴いている大きさにする。
この時の音楽ソースとしては、普段聴いているものを使うと調整がやりやすいでしょう。
- ①入力感度調整ボリューム（GAIN）を MIN からゆっくり回し、システム全体でバランスがとれる位置まで①入力感度調整ボリューム（GAIN）を調整する。
入力感度を上げすぎると音が歪むときがあります。また、ヘッドユニットの音量が大きくても音が歪むことがあります。
他のスピーカーからも歪みが出ていないか確認しながら調整を行ってください。
スピーカーシステム全体が歪んでいるような場合は、ヘッドユニットの音量を小さくしてください。
- ②ローパスフィルター周波数切替（LP FILTER）を調整し、他のスピーカーとのバランスが最良となるポイントに調整する。
- LP FILTER の設定が変化すると、音量も聴感上変化します。手順 3、4 を繰り返し行い、最良のポイントに調整する。
- ③位相切替スイッチ（PHASE）で位相を調整する。
スピーカーの取付位置、車の形状によって位相の最良となるポイントは異なります。他のスピーカーと本機の音が最も大きくなる方を選んでください。
運転席に座った状態で、NORM.（正相）の位置と REV.（逆相）を切りかえてみて良い方を選びます。